

DigitalCamera倶楽部

AUG 2017
Vol.140

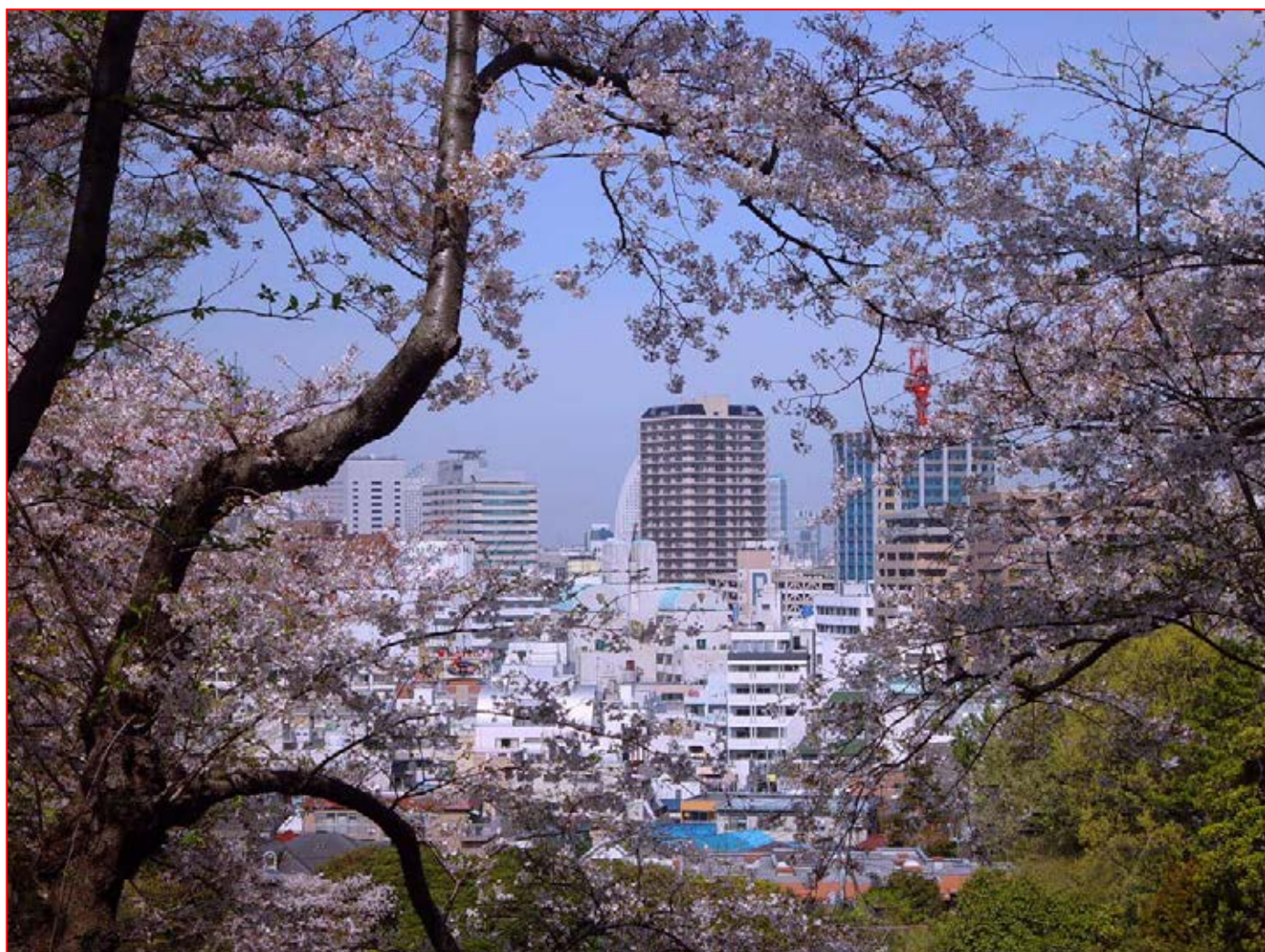
被写界深度

もう、何回も教室でもご説明していますからマスターされていると思いますが、おさらいをしておきましょう。

レンズの特性として光の入る量を調整する、『絞り』を絞れば絞るほど(絞りの直径が小さくなる)(カメラの絞りの数字は大きくなります)写そうとする範囲の手前から、奥までピントが合います。レンズの中心部を通る光で撮影することになります。

これを パンフォーカス とか ディープフォーカス と云います。被写界深度が深くなるとも言います。

風景写真や絵ハガキなどに良く使われています。画面全部にピントが合って臨場感が伝わってくる写真になります。



次に絞りを開いていってみましょう。同じくレンズの特性で、光の入る量が増えて、レンズの全体を使って写そうとするとピントの合う範囲が狭くなります。被写界深度が浅くなる と云います。絞りを全部開いてしまうことを全開にする。絞りを開放にする。などと云います。

皆さんが最近出される作品にマクロレンズを使ったり、ズームレンズの望遠側で撮影されて、花や水滴のクローズアップ写真があります。とても素晴らしい写真になっていますね。

このほとんどが、絞りを開いて主役になる被写体の前後をボカしています。そうすると写真を見るときに一転に集中して見られるので作者の意図と作品が大きく強調されます。



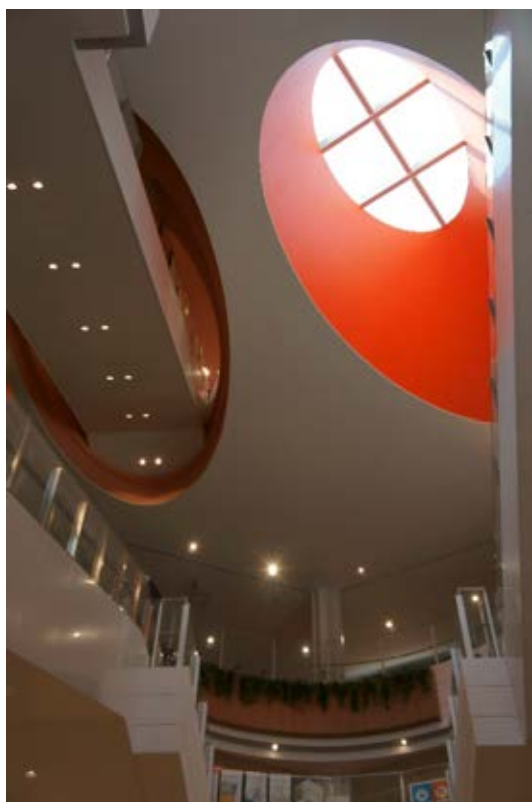
パンフォーカスにする場合、絞りを絞って行くと光の入る量が少なくなるので、シャッター速度が遅くなります。手持ち撮影ではなく、三脚の使用をお勧めします。

また、マクロ撮影の場合はシャッター速度は速くなりますが、被写体との距離が近くなって、被写界深度が浅い分前後にほんの少しズレても肝心のポイントを逃がしてしまいます。同じく三脚の使用をお勧めします。

鈴木義則 のページ

海老名ララポートの天窓と町田市旧白洲邸

エスカレーターと回廊の幾何学模様



天窓を別場所から狙うとエスカレーターが天井裏に行ってしまった

建物外観は青空から降りたU F 状、箱物のイメージを嫌ったか





旧白洲邸(現武相荘)
の門、元は百姓家の
表門と思えない

廃屋だった百姓屋に
若干の手を加えただ
けの建屋と庭は落ち
着きを醸し出す



元は柱の礎石と思われる
字が刻んであるが読めな
かった

鈴木瑠美子 のページ

旧吉田茂邸（大磯町郷土資料館）

旧吉田邸正門



吉田邸案内所



吉田茂が寝室にしていた
「銀の間」のシャンデリア



客を招いた食堂

吉田邸の庭園



佐藤重信の ページ

初めての「高ボッチ高原」 天気に恵まれ北アルプスを始め周囲の山々に感動



あたり一面のレンゲつつじ



相模原北公園では
紫陽花が真っ盛り



笹原虎夫のページ
【紫陽花】
・フラウ・オチョウ



・ダンスパーティー





【花ショウブ】

【網目アゲハ
蝶】



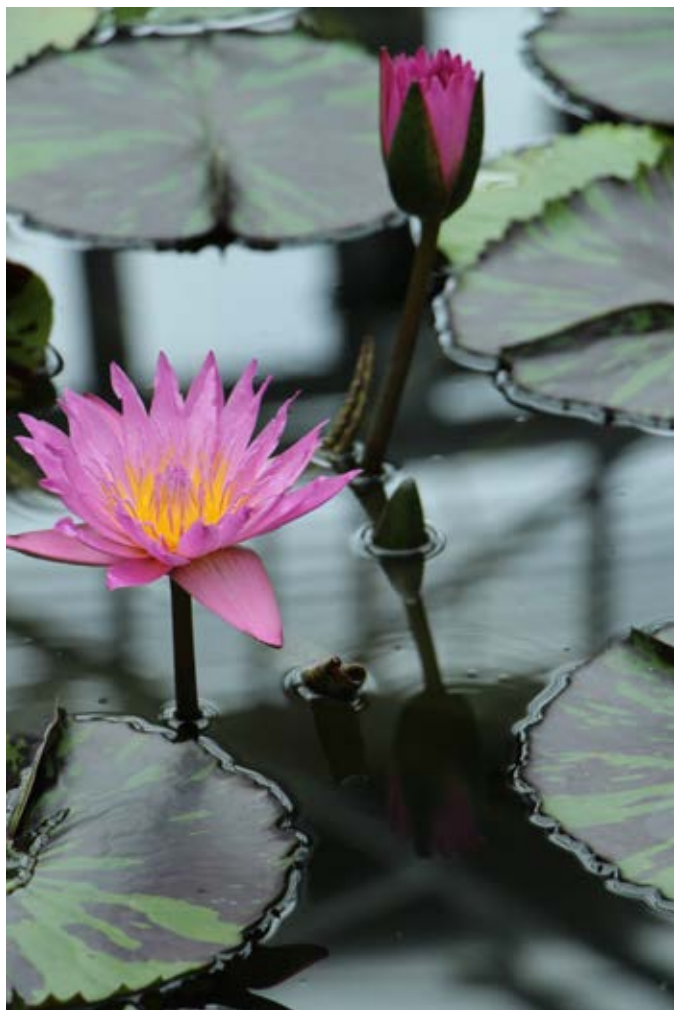
【早苗トンボ】

大川のページ



神代植物園にて





白岩ページ



厚木荻野公園
日本一長い滑り台62m
グリッサンド式（6歳～12歳迄）
6歳未満大人同伴推奨



昭和記念公園
怪獣森と霧の谷



平塚の七夕まつり



別府 29 - 7月ページ

ロンドン テムズ川遊覧時の写真です



遊覧客とビッグベン



上の視線の先は対岸のロンドンアイ
高さ135m 1回転30分 1ゴンドラ25人



タワーブリッジ



ロンドン橋 左岸あたり